

第1節 社会福祉施設等の整備状況

1. 社会福祉施設の整備状況(市・町別)

平成16年4月1日現在(単位:ヶ所)

市町名		多 度 町	長 島 町	木 曾 岬 町	東 員 町	郡 計	桑 名 市	い な べ 市	計	備 考
設置種別	生活保護去 救護施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
児童福祉法	助産施設	-	-	-	-	-	1	1	2	
	乳児院	-	-	-	-	-	-	-	-	
	母子生活支援施設	-	-	-	-	-	1	-	1	
	児童館	-	-	-	-	-	2	3	5	
	児童養護施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	知的障害児施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	知的障害児通園施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	進行性筋萎縮症児療育委託施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重症心身障害児委託施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	保育所	3	3	2	5	13	20	14	47	
	児童遊園	-	-	-	-	-	-	-	-	
	肢体不自由児療育センター	-	-	-	-	-	1	-	1	
老人福祉法	養護老人ホーム	-	-	-	-	-	1	1	2	
	特別養護老人ホーム	1	1	1	1	4	2	2	8	
	軽費老人ホーム	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ケアハウス	-	-	-	1	1	-	-	1	
	有料老人ホーム	-	1	-	-	1	-	-	1	
	老人福祉センター	1	1	1	-	3	2	2	7	
	老人憩いの家	-	-	-	-	-	1	-	1	
	デイサービスセンター	2	1	2	2	7	4	4	15	
在宅介護支援センター	1	2	2	3	8	4	7	19		
身体障害者福祉法	重度身体障害者更生援護施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	身体障害者療護施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重度身体障害者授産施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	身体障害者通所授産施設	-	-	-	-	-	-	-	-	0は分場の数 (1)を外数で表す
	身体障害者福祉センター	-	-	-	-	-	-	-	-	
知的障害者福祉法	知的障害者入所更生施設	-	-	-	-	-	1	-	1	
	知的障害者通所更生施設	-	-	-	-	-	-	-	-	
	知的障害者授産施設 (小規模通所授産施設を含む)	-	1	-	1	-	3	1	6	0は分場の数 (1)を外数で表す
	知的障害者グループホーム	-	-	-	3	-	-	2	5	
	知的障害者生活ホーム	-	-	-	-	-	1	-	1	
	心身障害者小規模作業所	1	-	1	-	-	4	3	9	
その他	隣保館	-	-	-	-	-	2	-	2	

第2節 生活保護

平成16年4月現在、桑名市を含めた2市2郡の被保護世帯数は685世帯、被保護人員は1,018人、平均保護率は4.7%と、県平均保護率の6.7%を大きく下回っている。

管内2郡4町では多度町(2.9%)を最高に、木曾岬町(1.4%)が最低を示している。

1. 保護の状況(福祉行政報告例平成16年4月分より)

市・町名	被保護者数(人)	保護世帯数(世帯)	保護率(%)	
管内	多度町	31	2.7	2.9
	長島町	39	30	2.5
	木曾岬町	10	7	1.4
	東員町	46	42	1.8
	小計	126	106	2.1
桑名市	766	501	7.0	
いなべ市	126	96	2.8	
計	1,018	703	4.7	

2. 保護の動向

(管内年間保護開始件数)

区分	類型	件数			
		15年度	14年度	13年度	12年度
在宅	高齢者	4	8	12	6
	母子	4	1	5	1
	傷病	14	9	7	8
	障害	3	8	0	3
	その他	5	10	7	9
	在宅計	30	36	31	27
入院	高齢者	4	4	5	5
	傷病	1	14	4	13
	障害	5	6	4	1
	入院計	9	4	13	19
総合計		39	60	44	46

15年度の数値にはいなべ市となった町の平成15年11月分までの開始件数も含む。

第3節 知的障害者福祉

2市2郡における療育手帳所持者(児)数は876人であり、対前年比では4.6%の増加となっている。

等級別内訳では、A(最重度・重度)が4.6%の増、B(中度・軽度)が4.6%の増となっている。

1. 療育手帳所持者の状況

平成16年4月1日現在(単位:人)

市町名	等級 A	等級 B	計
平成14年度	389(106)	399(96)	788(202)
平成15年度	428(113)	409(100)	837(213)
平成16年度	448(116)	428(110)	876(226)
多度町	28(4)	24(8)	52(12)
長島町	29(10)	36(12)	65(22)
木曾岬町	13(2)	14(4)	27(6)
東員町	51(11)	42(12)	93(23)
郡部小計	121(27)	116(36)	237(63)
桑名市	215(65)	213(54)	428(119)
いなべ市	112(24)	99(20)	211(44)

()内は、児の内数

2. 知的障害者施設の状況

(1) 知的障害者更生施設 平成16年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	定員	現員
くわのみ	桑名市	40	40

(2) 知的障害者通所授産施設 平成16年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	定員	現員
東員いずみ作業所	東員町	30	35
" 分場	東員町	5	
バンブーハウス	いなべ市	35	34
広陽園	桑名市	30	29
くわのみ	桑名市	10	10
バオバブの樹	桑名市	12	11
ワークセンターのぞみ	長島町	30	24

(3) グループホーム 平成16年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	定員	現員	バックアップ施設
ゆきわり草 第1	東員町	4	4	東員いずみ作業所
ゆきわり草 第2	東員町	4	4	東員いずみ作業所
つくしの家	東員町	4	4	東員いずみ作業所
高柳ホーム	いなべ市	4	4	バンブーハウス
平塚ホーム	いなべ市	4	3	バンブーハウス

(4) 生活ホーム 平成16年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	定員	現員	バックアップ施設
ありんこホーム	桑名市	3	3	広陽園

3. 心身障害者小規模作業所 平成16年4月1日現在 (単位:人)

施設名	所在地	定員	現員
多度町ひまわりワークス	多度町	14	11
木曾岬町さくら作業所	木曾岬町	9	10
北勢町たんぼぼ作業所	いなべ市	20	18
員弁町コスモス作業所	いなべ市	9	7
ふじわら作業所	いなべ市	14	11
桑名市みのり作業所	桑名市	19	15
ワークショップ みらい	桑名市	14	12
ワークス・スクラム	桑名市	14	12
夢工房	桑名市	9	7

第4節 身体障害者福祉

2市2郡における身体障害者手帳の所持者(児)数は6,032人であり、これを障害別に見ると、視覚障害が6.9%、聴覚障害が9.6%、音声言語障害が1.1%、肢体不自由が54.7%、内部障害が27.7%を占めている。

1. 身体障害者手帳所持者の障害別状況

平成16年4月1日現在(単位:人)

市町名	視覚障害	聴覚障害等	音声言語障害	肢体不自由	内部障害	計	備考
前年度	409	561	69	3,213	1,555	5,807(123)	
多度町	15	32	1	200	84	332 (5)	
長島町	28	31	4	243	140	439 (7)	
木曾岬町	12	12	4	94	61	182 (1)	
東員町	32	56	9	352	167	604 (12)	
小計	87	131	18	889	452	239 (8)	
桑名市	222	262	31	1,507	834	2,794 (62)	
いなべ市	108	185	16	905	387	1,564 (35)	
管内計	415	578	65	3,301	1,673	6032 (122)	

()内は、児の内数

2. 身体障害者福祉施設

施設の種別	施設名	市町名	定員	現員
身体障害者通所授産施設	サンフラワーガーデン あじさいの家	いなべ市	11	11
身体障害者 デイサービス 事業実施施設	桑名市総合福祉会館	桑名市	-	-
	桑名市福祉センター	桑名市	-	-

3. 特別障害者手当受給者数等の状況

平成16年4月1日現在(単位:人)

区分 年度	障害児手当		特別障害者手当		経過的福祉手当	
	受給者数	停止者数	受給者数	停止者数	受給者数	停止者数
H15年度	41	2	76	3	8	0
多度町	2	-	7	-	-	-
長島町	3	-	3	-	1	-
木曾岬町	0	-	2	1	-	-
東員町	13	1	18	1	4	-
計	18	1	30	2	5	0

第5節 高齢福祉

1 介護保険

介護保険運営する保険者（市町）を指導及び支援すると共に、介護保険基盤である指定居宅サービス事業所、指定介護支援事業所、介護保険施設からの指定申請等を審査し、必要に応じて運営等について指導した。

(1) 介護保険運営の指導・管理

保険者（市町）における介護保険制度の適正な運営等を支援するべく、介護保険法第197条及び地方自治法第245条の4の規定に基づく技術的助言の実施を長寿社会チームと共に行った。

また、各種の現任研修を行い介護認定等についての技術的支援を行った。

介護保険法第197条及び地方自治法第245条の4の規定に基づく技術的助言の実施状況

対象市町名	実施日	場所
いなべ市	平成16年1月13日（火）	いなべ市大安庁舎
木曽岬町	平成16年1月23日（金）	木曽岬町役場
桑名市	平成16年1月26日（月）	桑名市役所

指定居宅サービス事業所等の指定申請及び各種届出等の処理状況

指定申請件数	28件
変更申請件数	3件
変更届出件数	134件
休止届出件数	5件
廃止届出件数	12件
再開届出件数	0件
介護給付費算定に係る体制等に関する届出件数	59件

介護支援専門員実務研修受講試験申込受付状況

受付期間 平成15年7月15日から8月1日まで

受付件数	176件	うち受験資格別	国家資格等により受験（甲）	2件
			国家資格等により受験（乙）	106件
			国家資格等により受験（丙）	53件
			国家試験等により受験（乙と丙）	2件
			国家資格等にかかわらず受験	13件

甲は、医師、歯科医師の資格

乙は、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、理学療法士、作業療法士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、栄養士（管理栄養士）、義肢装具士、言語聴覚士、歯科衛生士、視能訓練士、柔道整復師の資格

丙は、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士の資格

現任研修実施状況

介護認定審査会委員現任研修会

実施場所：桑名シティホテル
実施日時：平成16年3月25日（木）
開催場所：参加者数 54人

介護支援専門員現任研修会

専門研修課程及び基礎研修課程 研修
実施場所：桑名市コミュニティプラザ
実施日時：平成16年3月23日（火）
場所 桑名市コミュニティプラザ 中会議室
参加者数 65人

基礎研修課程 研修

実施日時：平成16年3月29日（月）
実施場所：桑名庁舎 第2会議室
参加者数：25人

介護認定調査員現任研修会

実施日時：平成16年3月14日（日）
実施場所：長島町輪中の郷 コンベンションホール
参加者数：67人

要支援・要介護認定状況

平成16年3月31日現在

保険者名	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
桑名市	424	1,075	525	397	373	313	3,107
いなべ市	163	396	176	141	186	138	1,200
多度町	23	96	75	39	43	48	324
長島町	31	102	62	50	44	51	340
木曾岬町	20	44	13	10	14	16	117
東員町	49	186	95	79	75	56	540
管内計	710	1,899	946	716	735	622	5,628
三重県計	9,718	20,200	9,877	8,172	8,112	6,862	62,941

(2) サービス基盤状況

指定居宅サービス事業者等指定状況

平成16年4月1日現在

種 類	計	桑名市	いなべ市	多度町	長島町	木曽岬町	東昌町	
指定居宅介護支援事業所	48	27	9	1	4	2	5	
指定居宅サービス事業所	訪問介護	36	17	8	1	2	1	7
	訪問入浴介護	4	1	2	-	1	-	-
	訪問看護ステーション	7	4	1	1	-	-	1
	通所介護	46	21	12	2	1	3	7
	通所リハビリテーション	5	5	-	-	-	-	-
	痴呆対応型共同生活介護	10	5	3	-	1	-	1
	短期入所生活介護	9	3	2	1	1	1	1
	特定番設入所者生活介護	1	-	-	-	1	-	-
	福祉用具貸与	24	16	1	-	2	3	2
介護保険番設	介護老人福祉番設	8	2	2	1	1	1	1
	介護老人保健番設	6	3	1	-	1	-	1
	介護療養型医療番設	8	6	-	1	1	-	-

(3) 介護保険審査会の開催状況

区 分	審査請求 件 数	取り下げ 件 数	裁 決 結 果				
			審理中	却 下	認 容	棄 却	
桑名保健福祉部	1	0	1	-	-	-	1
三 重 県	10	2	8	-	-	4	4

平成15年度の要介護認定に係る不服申立を集計したものである。

介護保険審査会 開催日時 平成16年2月5日(木)

開催場所 セントラルホテル 2階会議室

2 高齢者福祉事業

負担金・補助金等の協議・交付申請・実績報告等を通して、これらの制度が高齢福祉事業運営に適切な活用が図れるように指導・支援を行った。

(1) 高齢者福祉事業実施状況

		桑名市	いなべ市	多度町	長島町	木曾岬町	東員町
高齢者等の生活支援	外出支援サービス			-			-
	寝具類等洗濯乾燥			-	-		
	軽度生活援助			-			
	住宅改修支援	-	-	-	-	-	
	理由書作成					-	
	訪問理美容サービス			-	-		-
	グループリビング	-	-	-	-	-	-
介護予防・生きがい活動支援	介護予防	転倒骨折予防教室			-		
		アクティビティ 痴呆介護教室			-		-
	生きがい活動支援通所						
	生活管理指導(短期宿泊)			-	-	-	
	食の自立支援	-	-	-			
家族介護支援	家族介護支援			-		-	-
	介護用品の支給	-	-	-	-		-
	家族介護者交流(元気回復)				-	-	
在宅介護支援	高齢者実態把握						
	介護予防プラン作成						
その他	生きがい健康づくり推進				-	-	
	成年後見制度利用支援	-	-		-	-	-
	緊急通報体制等整備						
	寝たきり予防対策	-	-		-	-	-

は、在宅老人福祉事業費補助金として、実績があることを表す。(制度化されていても、事業の該当者がなく実績がない場合は表示されていない。)

老人クラブ活動等事業

	桑名市	いなべ市	多度町	長島町	木曾岬町	東員町
老人クラブに対する助成	(116)	(76)	(20)	(27)	(7)	(14)
老人クラブ連合会の活動促進に対する助成	(1)	(4)	(1)	(1)	(1)	(1)
老人クラブ連合会が行う健康づくり事業	(1)	(3)	-	-	-	(1)

は、在宅老人福祉事業補助金として、実績があることを表す。

()内の数字は助成対象のクラブ数を表す。

日常生活用具給付等事業

	桑名市	いなべ市	多度町	長島町	木曾岬町	東員町
火災報知器	-	-	-	-	-	-
自動消火器	-	-	-	-	-	-
老人用電話	2台	-	-	-	-	-
老人用電話切替費	-	-	-	-	-	-
電磁調理器	-	-	-	-	-	1台

(2) 在宅介護支援センター設置状況

平成15年3月31日現在

	桑名市	いなべ市	多度町	長島町	木曾岬町	東員町	計
基幹型	1	3	1	1	1	1	8
地域型	7	2	-	1	1	2	13
計	8	5	1	2	2	3	21

第6節 精神保健福祉対策事業

1. 精神障害者地域生活支援事業

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付事業

	年度末 人員	級別内訳			
		1級	2級	3級	
平成13年度	268	67	165	36	
平成14年度	384	85	256	43	
平成15年度	457	87	320	50	
平成 15 年 度 内 訳	桑名市	267	51	189	27
	いなべ市	81	15	53	13
	多度町	35	4	31	0
	長島町	20	1	15	4
	木曾岬町	13	3	8	2
	東員町	41	13	24	4

(2) 精神障害者保健福祉相談指導事業

在宅の精神障害者及びその家族に対し、社会復帰の促進や自立と社会参加の促進のための相談を行った。

区分 年度	面接件数		訪問件数		電話件数
	実人員	延人員	実人員	延人員	延件数
平成13年度	74	184	60	154	1,432
平成14年度	94	182	52	128	1,324
平成15年度	98	201	49	89	1,026

2. 精神障害者社会復帰推進事業

(1) 精神障害者社会参加支援事業

ア. 生活訓練(ディケア)

在宅の精神障害者の生活自立を目指し、社会復帰を促進するために活動を行った。

区分	月別	総数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
平成13年度		257	20	10	36	30	32	21	22	31	25	12	16	25
平成14年度		315	25	24	26	30	37	22	23	26	36	23	36	7
平成15年度		275	15	30	32	18	33	20	29	23	20	20	12	23
内	男	121	5	10	15	11	16	10	16	8	9	10	6	5
	女	154	10	20	17	7	17	10	13	15	11	10	6	18

年度	内訳	回数	参加	事業結果		
				社会復帰	中断	継続
平成13年度		25	27	1	3	23
平成14年度		25	30	2	2	26
平成15年度		27	21	1	1	19

イ. 啓発広報

精神障害に関する正しい知識の普及啓発を行った。

- ・精神保健福祉講座（ボランティア養成講座）

全6回 1コース 参加者 計延べ 246名

- ・定例会（月1回）およびサロン（月1回）への技術支援

- ・家族勉強会（年1回）

テーマ「NPO 法人ボランティア千姫の活動について」

講師 NPO 法人ボランティア千姫 会長 吉川 栄美子 氏

ウ 地域支援ネットワークづくり

精神保健福祉に関わる関係機関との連携を強化し、協働体制を図ることを目的に実施した。

- ・講演会 年1回 参加者 計 104名

テーマ「人格障害の理解」

講師 奈良県立医科大学看護短期大学部 教授 飯田 順二 先生

- ・連絡会議 月1回

(2) 精神障害者共同（小規模）作業所運営費補助事業

在宅精神障害者に対し、集団による作業訓練及び生活指導等を行い、その社会復帰、社会参加の促進及び精神障害者の社会的自立と福祉の向上を図る共同（小規模）作業所に対し経費を支弁する市町村に補助を行った。

	補助作業所数	補助金 千円
平成13年度	1	3,643
平成14年度	1	3,643
平成15年度	1	3,643
作業所名	ワークルーム桑友（桑名市）	

(3) 精神障害者社会復帰施設運営費補助金

精神障害者社会復帰施設を運営する者に対し、その運営に要する経費の一部を補助することにより、精神障害者の地域社会における社会適応訓練の場を確保し、社会復帰の促進を図った。

年 度	金 額 千円	補 助 事 業 者
平成 13 年度	39,335	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	19,592	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	19,114	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	(1人・3月) 285	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)
平成 14 年度	37,533	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	20,544	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	19,119	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	19,119	医療法人康誠会 福祉ホームB型「TOUIN」
	(1人・12月) 1,120,440	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)
平成 15 年度	38,212	医療法人北勢会 生活訓練施設「あじさい」
	22,266	医療法人北勢会 地域生活支援センター「アジサイ」
	19,006	医療法人北勢会 福祉ホームB型「てまり花」
	19,006	医療法人康誠会 福祉ホームB型「TOUIN」
	(1人・12月) 1,102,800	社会福祉法人晴山会 知的障害者通所授産施設 「バンブーハウス」(授産施設相互利用)

(4) 精神障害者通院患者リハビリテーション事業

精神障害者を一定期間事業所に通わせ、集中力、対人能力、仕事に対する持久力、環境適応能力等の涵養を図るための社会適応訓練を行い再発防止と社会的自立を促進し、もって精神障害者の社会復帰を図った。

年 度	奨励金(千円)	協 力 事 業 所	(訓練人数・月数・人数)
平成 14 年度	594	有限会社 フジタ	(1人・12月・297日)
	64	株式会社 瀬古製作所	(1人・6月・32日)
	140	有限会社 加藤商店	(1人・6月・70日)
	112	有限会社 ちなみ鍍金工業所	(1人・3月・56日)
平成 15 年度	594	(有) フジタ	(1人・12月・298日)
	206	(株) 瀬古製作所	(1人・9月・103日)
	158	(有) 加藤商店	(1人・8月・79日)
	438	(有) ちなみ鍍金工業所	(1人・12月・219日)
	100	(有) イワタ	(1人・6月・50日)

3. 精神保健医療対策事業

(1) 通院医療費公費負担事務

(審査月別申請件数)

	合計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成13年度	755	80	92	72	66	62	69	59	48	38	63	49	57
平成14年度	802	67	60	72	50	38	59	47	92	70	59	83	105
平成15年度	1150	116	145	78	79	97	100	93	37	137	74	61	133

(年度末人員数)

市町名	平成13年度	平成14年度	平成15年度
桑名市	678	768	903
多度町	52	62	70
長島町	112	118	132
木曾岬町	56	53	61
いなべ市	-	-	353
(北勢町)	91	105	-
(員弁町)	49	52	-
(大安町)	101	106	-
(藤原町)	51	58	-
東員町	128	141	182
合計	1,318	1,463	1,701

(2) 精神保健措置事業

区分 年度	申請・通報件数					指定医診察結果		保護申請に基づく調査により		
	計	法23条	24条	25条	法26条の2	法29条該当	29条非該当	他の福祉施設	指定医診察不要	その他
平成13年度	6	2	4	-	-	2	2	-	2	-
平成14年度	5	1	4	-	-	4	1	-	-	-
平成15年度	6	-	6	-	-	4	2	-	-	-

(3) 疾患別措置入院者の状況

(H16年3月31日現在)

疾患別 市町別	総数	統合失調症	そううつ病	心因反応	非定型精神病	てんかん	知的障害	神経衰弱	アルコール性精神病	その他
	総計	3	2	1	-	-	-	-	-	-
男	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-
女	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
計	4	2	1	-	-	-	-	-	1	-

第7節 難病対策関係事業

1. 難病在宅ケア事業

(1) 事業の目的

難病患者及び家族に対し、医療と日常生活にかかる相談、指導、助言を行うことで疾病や療養などに対する不安の軽減を図り、QOL(生活の質)の向上につなげる。

(2) 対策の選定理由

難病は原因不明、予後不良の疾患であり、患者及び家族におよぼす精神的・身体的経済的負担が大きく、在宅ケアにおいて様々な問題を引き起こしている。在宅難病患者が地域で安心して暮らしていけるよう患者・家族の交流、専門医や関係機関等との連携を図り基盤整備をしていく。

(3) 事業の内容

在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅難病患者は病気の進行状況により、介護保険や福祉のサービスを変更をしていく必要がある。訪問後はケアマネージャーや訪問看護ステーションなど関係機関と連絡をとり、情報交換を行い支援の方向性を確認していった。

医療相談

患者・家族の療養上の不安・悩みを解消し、当事者同志の交流を図ることで、QOL(生活の質)の向上を目指すことを目的に実施した。

[神経難病医療相談]

実施年月日：平成15年10月16日

対象者：特定疾患受給者

(多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、パーキンソン病関連疾患)

内容：個別相談

医療相談、リハビリ相談

参加者：患者9名、家族6名、関係者1名

新規面接の充実

保健師が在席中は新規申請者の面接を行い生活支援・指導をした。特に神経難病患者は初回訪問基準票を用い家庭訪問につなげた。

平成15年度新規申請状況 103件 (重症 16件)

家庭訪問の充実

筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、パーキンソン病関連疾患等の神経難病重症患者を中心に継続訪問を実施した。新規申請者については訪問により早期に福祉サービスにつなげ患者のQOL(生活の質)の向上を図った。

平成15年度訪問実数 延べ27件

QOL教室

患者同士が集い、交流会を行なうことで、閉じこもりを防ぎ患者の生活拡大を促進しQOLの向上を図るためパーキンソン関連疾患患者・家族交流会を開催した。

また、毎年20～30名の新規申請がある潰瘍性大腸炎・クローン病を対象に、料理教室・交流会を実施した。交流会では盛んな情報交換が行われた。

1. パーキンソン病関連疾患患者交流会

平成15年	5月13日	公園散策	参加者数	13名
平成15年	6月18日	リハビリ教室	参加者数	14名
平成15年	10月8日	茶話会	参加者数	9名
平成15年	11月13日	医療講演	参加者数	17名
平成16年	3月22日	来年度の計画について	参加者数	10名

2. 潰瘍性大腸炎・クローン病

実施年月日：平成16年2月23日

対象者：特定疾患受給者

内容：調理実習「炎症性腸疾患にやさしい食事」
交流会（グループワーク）

参加者：患者8名 家族5名

関係者研修会

ケアマネージャー、ヘルパー、訪問看護師等、難病患者の関わっている職種は多く、関係者を対象に研修会を開催した。

実施年月日：平成15年12月4日

対象者：関係職員（市町保健福祉関係・社会福祉協議会・介護保険事業所関係職員・訪問看護ステーション）

内容：特定疾患治療研究事業について
医療講演「神経難病の治療とケア」

参加者：45名

(4) 考察

今年度も、神経難病を主に家庭訪問を実施した。新規のケースでは、福祉制度が導入されているところが少なく、聞き慣れない病気への不安、日常生活への不安、将来への不安等多く聞かれた。したがって、状況把握だけではなく、相談窓口を伝えたり、情報提供する等、不安の軽減をはかっていく必要があると考えられる。また、継続のケースでは、介護保険や訪問看護を利用しているケースが多く、関係機関との連絡調整が必要になった。

病気の進行により、福祉制度が導入されることにより、ケアマネージャーや訪問看護等かわる機関が多くなることが考えられ、今年度、関係機関の方を対象に、研修会を開催した。研修会終了後のアンケートにより、今後の業務に役立てられるという回答が得られたことから、難病について知ってもらう機会になったと思われる。したがって、今後も継続していきながらこの地域のネットワークの基盤を強めていくことが必要である。

2. 特定疾患治療研究事業

いわゆる難病のうち特定疾患は治療がきわめて困難であり、長期の療養を要し、かつ、その医療費も高額であるので、これらの患者の自己負担を軽減し、治療の促進を図ることを目的として医療給付を行っている。

疾患別	市 町	総 数	内 訳					
			桑 名 市	いなべ市	多 度 町	長 島 町	木曾岬町	東 員 町
平成15年度		805 (115)	387 (63)	194 (26)	44 (8)	66 (8)	29	85 (10)
1 ベーチェット病		27 (8)	12 (4)	9 (2)	2	2 (1)	-	2 (1)
2 多発性硬化症		19 (6)	7 (1)	5 (4)	-	2	-	5 (1)
3 重症筋無力症		13 (1)	5	1 (1)	-	2	3	2
4 全身性エリテマトーデス		76 (1)	34 (1)	13	6	10	3	10
5 スモン		1 (1)	1 (1)	-	-	-	-	-
6 再生不良性貧血		23 (2)	13 (1)	3	1	4 (1)	-	2
7 サルコイドーシス		17 (1)	6 (1)	5	-	2	1	3
8 筋萎縮性側索硬化症		9 (7)	3 (3)	3 (1)	1 (1)	2 (2)	-	-
9 強皮症、皮膚筋炎又は多発性筋炎		70 (1)	34 (1)	17	4	4	2	9
10 特発性血小板減少性紫斑病		31	13	11	1	2	2	2
11 結節性動脈周囲炎		5 (1)	4 (1)	-	-	1	-	-
12 潰瘍性大腸炎		134 (1)	64 (1)	32	9	11	6	12
13 大動脈炎症候群		5	3	-	-	1	-	1
14 ビュルガー病		7	2	2	2	-	1	-
15 天疱瘡		9	7	2	-	-	-	-
16 脊髄小脳変性症		20 (13)	9 (7)	4 (2)	1 (1)	2 (1)	-	4 (2)
17 クローン病		38 (1)	21	5 (1)	3	5	1	3
18 難治性の肝炎のうち劇症肝炎		-	-	-	-	-	-	-
19 悪性関節リウマチ		13 (5)	5 (2)	3	2 (2)	1 (1)	1	1
20 パーキンソン病関連疾患		101 (29)	54 (19)	28 (7)	7 (1)	3 (2)	3	6
21 アミロイドーシス		2	2	-	-	-	-	-
22 後縦靭帯骨化症		46 (10)	18 (3)	20 (5)	1 (1)	1	-	6 (1)
23 ハンチントン舞踏病		1 (1)	1 (1)	-	-	-	-	-
24 ウィリス動脈輪閉塞症		14 (1)	7	3	-	2	-	2 (1)
25 ウェゲナー肉芽腫症		2 (1)	1 (1)	-	-	-	-	1
26 特発性拡張型(うっ血型)心筋症		18 (1)	7 (1)	8	-	1	-	2

疾患別	市 町	総 数	内					東 員 町
			桑 名 市	いなべ市	多 度 町	長 島 町	木 曾 岬 町	
27	多系統萎縮症	17 (10)	10 (5)	3 (1)	1 (1)	-	-	3 (3)
28	表皮水疱症（接合部型及び栄養障害型）	-	-	-	-	-	-	-
29	膿疱性乾癬	2	-	1	-	-	-	1
30	広範脊柱管狭窄症	6 (1)	3	2 (1)	-	-	1	-
31	原発性胆汁性肝硬変	18 (1)	12 (1)	3	-	1	1	1
32	重症急性膵炎	2 (2)	2 (2)	-	-	-	-	-
33	特発性大腿骨骨頭壊死症	13	7	1	-	3	1	1
34	混合性結合組織病	7	2	2	-	-	1	2
35	原発性免疫不全症候群	-	-	-	-	-	-	-
36	特発性間質性肺炎	7	4	-	1	1	-	1
37	網膜色素変性症	28 (8)	14 (6)	8 (1)	1 (1)	2	2	1
38	プリオン病	-	-	-	-	-	-	-
39	原発性肺高血圧症	2	-	-	1	-	-	1
40	神経線維腫症	-	-	-	-	-	-	-
41	亜急性硬化性全脳炎	-	-	-	-	-	-	-
42	バット・キアリ症候群	1	-	-	-	1	-	-
43	突発性慢性肺血栓栓症	1 (1)	-	-	-	-	-	1 (1)
44	ライソゾーム病（ファブリ 病含む）	-	-	-	-	-	-	-
45	副腎白質ジストロフィー	-	-	-	-	-	-	-

〔（ ）の数字は重症者数〕